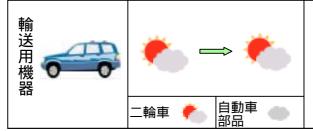
【產業動向概要】

産 業 全 体

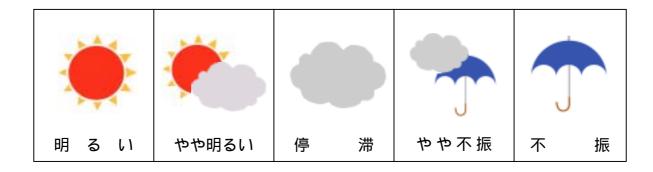


07年1月を中心とする県内経済の動向は、個人消費は概ね横ばいで推移し、企業の生産活動、設備投資はともに堅調に推移している。雇用面では、有効求人倍率は4ヵ月連続で低下したが堅調に推移している。このように、県内経済は、需要面は概ね横ばいで推移しているものの、生産動向、雇用動向ともに堅調であり、回復の動きを続けている。

観光・旅館業		年末年始の伊豆地区の宿泊客数は堅調に推移。 悪天候等のマイナス要因も少なく、地域全体で みると近年では比較的安定した集客となった。 一方、河津桜まつりの入込み客数も前年比 7.4%増と2年連続して増加。
紙類	衛生用紙 板 紙	古紙価格は強基調が継続。家庭紙の小売価格は緩やかながら上昇も、原料古紙の価格が再度上昇しており、メーカーの収益環境は厳しい。 段ボール原紙の国内需要は比較的安定も、原料古紙の価格が強含みになっており、原料コスト拡大の懸念もある。
水産業		11~1月の静岡県主要漁港の水揚高は、カツオ、マグロ等を中心に魚価が上昇した影響で、前年比42.4%の増加。しかし、燃料油価格の高止まりが経営の圧迫材料となっている。
一 般 機 械 (主要)	金属 金型 金型 パルプ及び製紙機械、プラスチック加工機械	金属工作機械は二桁成長が継続。金型も高水準の生産を続けるが、先行きについて経営者は慎重な見通し。パルプ及び製紙機械、プラスチック加工機械は大幅増加が継続。
* *************************************	ightharpoonup	11月~1月の県内新設住宅着工戸数は順調に推移し、6期続けて前年を上回る。構造別では非木造が増加し、木造の年間シェアは減少。製材品の06年生産実績は前年より減少幅が拡大。一方、国産材丸太価格は輸入材の急騰を受け、下げ止まり反転の兆し。
缶詰	水産 (出) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	ツナ缶は原料高により採算性の維持が難しく、 生産量は縮小方向。農畜産缶は前年の高水準の 反動で減少。緑茶飲料の失速により各メーカー は特保などの高付加価値商品の開発に注力。
楽器	ピアノ 電子 楽器類	主力のピアノは、11月~1月にかけ、生産台数、販売台数ともに引き続き前年実績を上回り、堅調に推移。電子楽器類は電気・電子ピアノ、電子キーボードとも販売は量・額ともに順調に推移、電子オルガンは生産は回復傾向がみられるが・販売は引き続き不振。



11月~12月の遠州地域の二輪車生産台数は、主力の輸出向け自動二輪が堅調で、全体としても前年比プラスで推移。一方、自動車部品は、普通車の国内需要は低迷しているものの、北米などへの輸出が好調で、県内メーカーの生産量は確保できている模様。



《産業別天気マークの推移》

